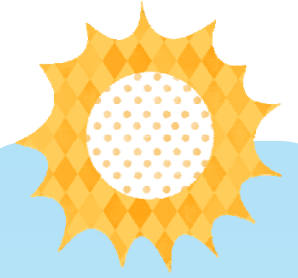


INTERNATIONAL CENTER

Newsletter Vol.84



6月 & 7月
2011

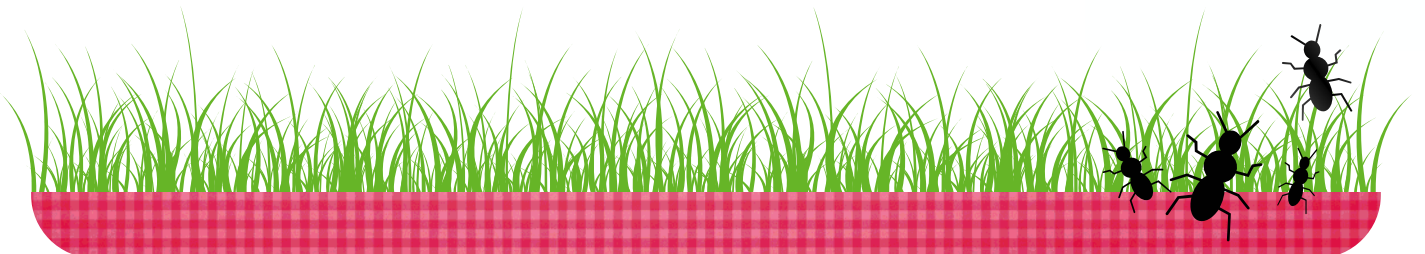


目次

インターナショナルCアワー (6月) プレゼンテーション 「時速8キロの南極旅行」.....2
第49回大学祭を開催.....2
野草観察会@森林公園.....3
インターナショナルCアワー (7月) 「被災地に送る絵手紙 を描こう」.....3
別れの時 - 短期留学生修了式 .4
北見市 ぼんち祭り4

今後の予定

8/1	チューターガイダンス
8/10	インターナショナルC アワー
語学研修プログラム	
8/11-9/2	ドイツ
8/30-9/24	中国
9/4-9/27	カナダ



インターナショナルCアワー プレゼンテーション 「時速8キロの南極旅行」

今学期第2回のインターナショナルCアワーは6月9日に開催された。今回は昨年11月から今年3月にかけて、南極観測隊に加わり、雪上車で片道1000キロの旅をした本学大学院生の日下稜さんがそのとてつもない旅について報告。その中で素敵な写真もたくさん紹介された。日下さんは1か月間の長い、そしていささか退屈な砕氷艦「しらせ」での旅の後、無事に南極大陸に到着した。その後さらに、雪上車で1000キロ走り、「ドームふじ」ステーションに到着、滞在した。ステーション周辺では、研究のため氷床コアのサンプルを採取、日本に持ち帰る作業を行った。その後、砕氷艦に戻る前に南極観測隊は「昭和」ステーションに一泊した。「昭和」ステーションではバーでお酒を飲み、数週間ぶりにお風呂に入ることもできた。そして、再び砕氷艦へと戻り、また長く退屈な旅に耐える日々が続いた。ただ、旅の途中、貴重な南極のオーロラを見逃す事はなかった。日下さんのプレゼンテーションの後の質疑応答では、参加者から質問が多く寄せられ、旅についてさらに理解を深める事ができた。参加者はみなとても感銘を受け、彼のこの貴重な体験と美しく目をみはるような写真に感動した。



第49回大学祭を開催

6月18日(土)～19日(日)、第49回北見工業大学大学祭が開催された。最初は雨模様の天気だったが、その後天気も回復、工大生、留学生、教職員と北見市民、と多くの参加者がみな楽しい時間を過ごすことができた。毎年、大学祭で学生は自分の研究室や研究を、友人や家族、また来訪者の方々に紹介している。本館前では様々なステージ企画、ダンスパフォーマンスやゲームを楽しむことができた。そして、前回と同じように、今回もたくさんの留学生のおかげで大学祭に国際的な雰囲気加わった。出店では焼肉、お好み焼き、韓国チジミ、中国餃子、台湾のタピオカミルクティーやベトナムのヌードルスープなどなどの日本や海外の料理が作られ、提供された。

また、大学祭で留学生にとってのメインイベントの一つが日本文化を体験する企画だった。「生け花教室」、「着物の着付け体験」及び「お茶会」が実施された。

なお、今回の大学祭で、学生は東日本大震災の被災地を支援するために被災地への寄付を集める活動を行った。



野草観察会@森林公園

6月25日(土)に、前国際交流センター長、そして留学生にとっての大切な存在とも言える山岸高教授の引率で、この地域の野草について学ぶため、26名の留学生が森林公園へハイキングに行った。このツアーは北見東ロータリークラブの支援で開催され、クラブの5名のメンバーもツアーにご参加頂いた。バスに1時間ゆられ、森林公園に到着。まず始めに、留学生の代表が北見東ロータリークラブより寄付を頂く授与式を開催、その後山岸教授は、ハイキングをしながら道に沿って様々な野草に関して説明を行った。学生は、その説明を楽しむだけではなく、なんといくつかの野草を味わう機会も与えられ、草笛の吹き方も学んだ。ハイキングの後は、美味しいジンギスカンBBQも楽しんだ。満腹になって、近くのオホーツク海のビーチへも足を伸ばそうということになった。森と野草の美しい緑色を満喫した後、砂と濃紺の海の色を楽しむ。そのコントラストは、皆にさらなる素晴らしい印象を与え、とても楽しい時間を過ごすことができた。その証拠に帰りのバスの中は留学生の歌声であふれていた。



インターナショナルCアワー 「被災地に送る絵手紙を描こう」

7月13日のインターナショナルCアワーは、特別なテーマで開催された。前年と同じように主には絵手紙を描くことに挑戦したのだが、今回の絵手紙には東日本大震災の被災者を勇気づけるためのメッセージを加えた。最初に、小林チヨ先生とそのアシスタントの方から、絵手紙の描き方を説明して頂き、練習を開始した。その後、参加者はそれぞれ自分の好きなモチーフを選択し、絵手紙を仕上げた。絵手紙を描くのが初めての人が多かったが、結果は上出来だった。被災者のために、心温まる言葉を選び書くもの、被災者の顔に微笑をもたらすためにユーモラスなモチーフを描くもの、それぞれが自分のスタイルで描く事ができた。



北見市 ぼんち祭り



観光客にとって、絶好のタイミングでその場所にいられるのは本当に嬉しいことです。それはつまり、北見のぼんち祭りの前日に北見市に到着した私のことと言えるでしょう。私は、日本の大ファンなので、マイ浴衣も持ってきていまして、ぼんち祭りでは、もちろんそれに身を包みました。「舞踊パレード」や「屯田大綱引き」はとても面白かったです。日曜日に予定されていた花火大会は雨のせいで月曜日に延長されてしまいましたが、幸いにも月曜日の天気は晴れで、とてもきれいな花火を楽しむことができました。北見市のこんな歓迎の形にとっても感謝しています。

カネンバーク・スベン
(ドイツの学生)

国際交流センターニュース6月・7月号
Vol. 84 2011年8月発行
発行所：北見工業大学国際交流センター
〒090-8507北見市公園町165
TEL 0157-26-9370 FAX 0157-26-9373



別れの時- 短期留学生修了式

今年も6か月から1年間滞在した短期留学生との別れの時がきた。今学期は、劉昌育さん、曾柏巖さん、ザレバ マチェックさん、ガンボルト ムンゲン エルデネさん、バタバートル プレブヒシグさん、黄晋彦さん、莊媛淑さん、陣元植さん、慈維君さんの9名の短期留学生が北見工業大学の短期留学プログラムを修了することになった。国際交流センターは短期留学生のための修了式を企画し、スタッフや留学生の感動的なスピーチや、思い出たっぷりの写真も楽しんだ。学生はそれぞれ、高橋国際交流センター長から短期留学修了書を受け取った。

国際交流センターのスタッフ全員、心から皆さんの成功を祈る。そしていつかまた再び北見で会えることを願って！新しい人生の旅を楽しんで！



今後の予定

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 8/1 (月) | チューターガイダンス |
| 8/10 (水) | インターナショナルCアワー
語学研修プログラム |
| 8/11 (木)-9/2 (金) | ドイツ |
| 8/30 (火)-9/24 (土) | 中国 |
| 9/4 (日)-9/27 (火) | カナダ |